

西 ～にし～

Good News

■武蔵台学園 府中分教室（わかば学級）「3年ぶりの星空教室の開催」

7月29日（金）、東京都立小児総合医療センター「からだ病棟」に入院している児童・生徒の在籍するわかば学級で、3年ぶりの星空教室を開催しました。星空教室は本校の前身の清瀬分教室時代から30年以上も続いている行事です。これは、当時の昭島天体観測所長の高橋芳弘氏が、「入院している児童・生徒に、普段できない特別な経験をさせたい」という思いから開始されたものです。高橋氏は第1回目から現在まで講師を引き受けて下さっています。



中継で講義を聞く様子

当日は、感染症予防のため、講義は別室からの中継となりましたが、どの児童・生徒も宇宙や隕石に関する説明を真剣に聞く姿が見られました。講義後は、病院5階にある広場に移動し、高橋氏に設置していただいた望遠鏡で、星の観察を行いました。病院の御協力で5～7階の廊下を消灯すると、児童・生徒は夜の暗い広場での活動に大喜び。ワクワクしながら、順番に望遠鏡をのぞいて星を見ていました。新型コロナウイルス感染症が再流行している時期でしたが、病院の感染症対策チームに助言をいただきながら、充実した星空教室を開催することができました。今後も病院と連携し協力しながら、様々な行事が実施できるよう取り組んでいきます。



観察に使用した望遠鏡

（主幹教諭・武藤 明美）

令和3・4年度のGood Newsは、以下の掲示板からご覧になれます。

[【令和4年度GoodNews】](#)

[【令和3年度GoodNews】](#)